

環境報告書 2023



西多摩衛生組合

環境センター

目次

私たちの取組み	1
第1章 事業概要	3
1 西多摩衛生組合のあらまし	4
2 組織のあらまし	9
3 環境センターの施設のあらまし	10
第2章 私たちの環境負荷低減への取組み	19
1 環境方針	20
2 2022年度（令和4年度）の物質収支	21
3 2022年度（令和4年度）の実績と評価	22
4 環境負荷 ごみの搬入、ごみの処理と再資源化、エネルギー使用と温室効果ガスの排出、水使用と排水、 薬剤購入、排ガス、近隣地域のダイオキシン類の影響等、土壌中のダイオキシン類、 放射性物質および空間放射線量率、臭気、騒音、振動、排水	25
5 サーマルリサイクル 熱の供給、発電設備	52
6 地球温暖化対策の活動 地球温暖化対策、省エネルギー・温室効果ガス対策工事、職員の環境教育・啓発、壁面緑化	53
7 臭気パトロールの実施 臭気パトロールの概要、臭気パトロールの結果	55
8 安全衛生などの取組み 安全衛生推進体制、活動	57
第3章 コミュニケーション	59
1 環境情報の公開 組合公式サイト開設、情報公開制度の運用、閲覧コーナーの設置、環境モニタリング装置の設置、 広報紙の発行、環境報告書の作成	60
2 環境コミュニケーション 周辺地域協議会との協働、見学会の充実、環境学習	61
3 循環型社会の構築への取組み 構成市町の剪定枝の活性炭への再生利用、エコセメントの活用、多摩地域内の木材（多摩産材）の利用	64
4 災害対策への取組み	67
5 その他の活動 地域還元事業への取組み、協働の取組み	68
公害防止協定書（全面改定）	71

◆ 案内図（主な交通経路）

裏表紙

報告対象

西多摩衛生組合環境センターの活動を主な報告対象としています。

報告する期間 2022年度（令和4年度）

2022年（令和4年）4月1日～2023年（令和5年）3月31日です。

参考にしたガイドライン

この報告書は、東京都環境局の「一般廃棄物処理施設向け環境報告書ガイドライン2005年度（平成17年度）版」を参考に、西多摩衛生組合独自の内容も加えて作成しました。

私たちの取組み

西多摩衛生組合は、構成市町（青梅市・福生市・羽村市・瑞穂町）の約 27 万人の皆様から排出される可燃ごみを適正に処理（焼却）するため、一般廃棄物の中間処理施設等を設置・運営する特別地方公共団体です。

当組合では、環境方針を『環境にやさしく安全で地域と協働する清掃工場』と定め、関係法令を遵守した廃棄物処理を行うとともに、環境防止対策を徹底することで、安全で安定的な施設運営に努めています。

特に環境防止対策については、環境への負荷をできるだけ低減するため、最新の技術等を導入することで、周辺住民の組織である羽村九町内会自治会生活環境保全協議会ならびに瑞穂町環境問題連絡協議会と締結している「公害防止協定」を遵守するとともに、情報の公開を積極的に進めることが第一であると考えています。

1998 年（平成 10 年）に稼働した環境センターの維持管理の状況では、社会インフラとして、施設を長期にわたり有効活用するため、2012 年度（平成 24 年度）に「西多摩衛生組合環境センター長寿命化計画」を策定し、2013 年度から 2019 年度（平成 25 年度から平成 31 年度【令和元年度】）までの 7 か年事業として第 1 期基幹的設備改良工事を実施してきました。

基幹的設備改良工事の実施にあたっては、「青梅市・福生市・羽村市・瑞穂町地域循環型社会形成推進地域計画」を策定し、施設を延命化するとともに、設備の省エネルギー化および排出する二酸化炭素の削減を併せて計画することで、環境省の循環型社会形成推進交付金（国庫補助）の対象事業としました。

2022 年度（令和 4 年度）では、施設の重要な排ガス処理設備であります「集じん器（触媒入りバグフィルター）」の更新工事（1 号炉・3 号炉）を行いました。

また、「今後の組合運営の方向性に関する検討結果および事業計画」に基づき、昨年度から実施してきました「環境センター環境学習拠点整備（見学者コース更新）事業」により、2022 年（令和 4 年）6 月から見学者コースをリニューアルオープンしました。

こうした西多摩衛生組合の事務事業の取組状況や活動の成果を、関係者および地域の皆様にご理解いただくため、「環境配慮促進法」により作成・公表が義務づけられている「環境報告書」を刊行しましたのでご一読願います。

当組合では今後とも、事業活動によって生じる環境負荷を最小限に抑制するため、引き続きハードおよびソフトの両面にわたる改善を図り、地域の皆様にご理解と信頼が得られるよう努めてまいります。



西多摩衛生組合